

## 8月27日スポレクBグラウンド一発退場の状況確認(規律委員会)

### \*審判担当チーム(FC 船橋 久保田審判からの報告)

状況報告します。

試合中に審判がファウルと判断していないプレーだが接触があった。

その接触プレーに腹を立てた市原シニアの選手が、立ち上がってトキガネの選手に向かって行き、肘・前腕部で相手の肩から頭辺りに強くぶつかっていった。

相手を押すというよりも叩く行為だと判断して、退場処分とした。以上です。よろしくお願いします。

### ※石原代表からの報告(FC 船橋 40)

私は直接そのシーンを目にしておりませんが、小競り合いが起き、状況を確認しました。

両チーム共に判定について異議を唱える雰囲気もなく納得している様子でしたので、退場はやむなしだったと思います。

以上になります。ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

### ※市原シニアチーム代表者・当該選手より懲罰事象の意見書(報告)

千葉県シニア委員会各役員様

この度は8月27日にスポレクパークで実施された試合にて当チームの選手による退場処分でご迷惑をお掛けして大変申し訳ありません。

私は当日参加する事が出来ませんでしたので本人及び他選手から状況を確認し下記に纏めましたのでよろしくお願いいたします。

・該当試合/8月27日 7:40 Kickoff FC 市原シニア vs トキガネシニア

・退場選手(理由)/岩佐孝司選手(暴力行為)

まず本人に確認をしましたが、試合中に相手から受けていた厳しいディフェンスの中に二度程危険ではないかなと思うスライディングがあったそうです。

(そのうちの一回は膝に接触、もう一回は何とかかわして回避)

どちらも接触している事や危険だという事を主審にアピールをしましたが、審判からは接触した瞬間は見えていなかったようでファールの判定は出なかったとの事でした。

そういった厳しいマークに合う中で自分自身が思うようプレーできない事でフラストレーションが徐々に溜まっていた中、相手選手からボールを奪おうと勢いをつけてプレッシャーを掛けに行った際、相手選手との距離が思った以上に近くなってしまい勢いを止める事が出来ず、肩で押すような状況になり相手選手を倒してしまいました。

本人からするとそこまで強くは当たっていないようなのですが、相手選手が思った以上に大きく転倒してしまった為、審判の方には危険とみなされレッドカードが提示されてしまったとの事です。本人は処分が下された瞬間は受け入れる事はやや難しかったようですが、すぐに落ち着きを取り戻して処分を受け入れ反省し、試合後には自ら相手選手へ謝罪もしに行ったとの事でした。その際、相手選手からも温かい声を掛けて頂けたようです。

### 【岩佐選手本人より】

この度は、試合中の自分自身の感情を抑えられなかった事でトキガネシニアの方々はもちろんの事、千葉県シニア委員会役員の皆様にもご迷惑をお掛けしてしまい大変申し訳ありません。

今回の私のプレーで下された判定につきましては一切の異論はありません。

自分自身の感情をコントロールできなかった事を深く反省し、今後のプレーに活かしていきたいと思えます。

FC 市原シニア 岩佐孝司

### 【チームとして】

主審の方(船橋 40/久保田氏)は、しっかりと試合をコントロールしてくださっていました。

どちらのチーム寄りという事もなく公平に吹いていただいていたのがチームとしての印象です。

以上の事からチームとしましても今回の岩佐選手へのカードの提示や処分に対する異論はありません。個人だけではなくチーム全体の責任としてしっかりと受け止め反省し、今後の活動に活かしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

FC 市原シニア 代表 岡田雅敏

### ※FCトキガネチーム、岩瀬代表より報告

FCトキガネの岩瀬です。

FC 船橋 40 の石原さん、FC 市原シニアの岡田さんからの報告にありましており試合中の接触プレーの後に市原シニアの選手がトキガネの高橋雄介選手に対し、押し倒すような行為がありました。

その行為が暴力行為とみなされ、審判より一発退場の処分が下されましたが、適正なジャッジであったと思えます。

その後は、審判のコントロールにより両チームとも荒れる事なく冷静に試合を終えることができました。

以上です。

尚、当事者チームとして、岩瀬代表(FCトキガネチーム)の意見

私も目の前で見ていましたが、殴りかかるような状況ではなく、押し倒したような感じでしたので悪質な暴力行為ではないと判断します。

また本人も反省し、試合後にもすぐに謝罪にいられていましたので追加の懲罰は無しで大丈夫だと思います。

FCトキガネ 岩瀬、ご確認お願い致します。

### ※本部担当チーム(マッチコミッサリー)JSC チームからの報告

JSC 中原です。

試合終了後、主審の久保田氏にレッドカードを出した状況を確認した際に、殴る等の行為でなく、接触後に強くぶつかっていた行為により、レッドカードを出したと伺いました。

グラウンド上に配置していた交代確認用のメンバーに確認しましたが、接触後の報復のような形で接触しに行っていた。主審の方は、プレー近くでジャッジしており、正しい判断を下していたと報告をうけております。

## ※規律委員会裁定報告(0827) 9/1 決定

### ※高山規律委員長報告

8/27 FC 市原シニア 岩佐孝司選手の退場について

報告書を読ませていただいた上での個人的な意見を申し上げます。

まずは、主審をやられた方が最初のコンタクトがあった場面で、何らかのアクション(言葉や動作)で注意をしていたら、選手もストレスを貯めずにプレーできたような気がします。選手は審判をリスペクトし、審判も選手をリスペクトし、言葉を交わしながら、コミュニケーションをとりながらプレーをすればよかったのにと思いました。私が審判でしたら、イエローカード・反スポ・過度の力でのアタックと処理していたかもしれません。

ですが、担当主審が岩佐選手に乱暴な行為として、レッドカードが出されたという事象に変更はありませんので、1 試合の出場停止で良いかと思います。

### ※中野役員からの報告！

8/27 FC 市原シニア 岩佐孝司選手の退場については本人も理解して反省もしていますし、

審判・両チーム・本部も含めて見解にズレもありません。従って、追加懲罰無し、1 試合出場停止でいいと思います。

### ※手塚役員の裁定報告

8 月 27 日の市原シニア vs トキガネシニアの試合での岩佐選手への一発退場に関する当事者、両チーム代表、本部担当の JSC からの報告及び、審判の久保田さんからの報告をから、主審の判断・裁定及び当該者、岩佐選手の処分を受けた後の対応も、特に問題無いと考えますので、1 試合の出場停止の判断は、適切だと思います。

### ※水島役員の裁定報告

報告資料を拝見しました。

主審、マッチコミッサー、両チームの見解が一致していることもあり、1 試合の出場停止が妥当であると個人的には判断します。

### ※川嶋役員の裁定報告

今回の事案につきまして、退場処分に関する理由の見直し(乱暴な行為)と追加懲罰は 1 試合が妥当と判断します。

### ※柳田役員裁定報告

今回のケース、2回の接触時に審判が何かしらのアクション(or コミュニケーション)を起こしていれば防げた可能性があると感じました。1 試合の出場停止で異論ありません。

### ※井上より今回の事象、意見

一発退場、乱暴な行為との事で始めはナーバスに判断しておりました。

尚、各役員の見解を報告書を読み直すと(反スポ(乱暴な行為? 過度な力で押し倒した)によって、審判の判断で一発退場とあります。

よって、今回は一発退場、1 試合の出場停止で良いと判断します。

## 規律委員会最終決定連絡

今回の事象(8/27 スポレク B)では1試合の出場停止で決定しました。

高山規律委員長の事が起きる前から主審によるコントロール、声掛けが有れば、選手の冷静さが保て、主審がコントロールする事も大事だと思われる意見です！

又、審判報告書で初期に心配しておりました暴力事件では無い事が判明し、安心しました。

常々シニア委員会で伝えている様にもし、暴力行為が決定されると、懲罰規程とは別に、シニア委員会より退場してもらいます。

チーム内必ず徹底確認する事。チームでコントロールする事！

一発退場事象が起きた時は、本部(マッチコミッサー)、審判、各報告書、当該チーム代表役員、当該選手(弁明書)を必ず準備する事！(片平懲罰役員、中野事務局長)は規律委員会に速やかに報告する事！

以上、規律委員会裁定決定報告します。

規律委員会高山委員長、手塚千俊、中野秀昭、川嶋仁、水島壮也、柳田健太郎、井上龍彦 役員承認

(2023年9月1日)